

令和5年度第1回蕨市立学校給食センター運営委員会会議録

開催日時	令和5年7月18日(火) 午後3時～午後3時45分
場所	蕨市立学校給食センター2階栄養指導室
出席委員	鈴木真美 委員 平岡典子 委員 山口浩 委員 平なおみ 委員 西村千絵 委員 庄 喬 委員 今井陽子 委員 坂本さゆり 委員
欠席委員	平野雅代 委員 横田秀雄 委員
参与	渡部 幸代
事務局	石丸 岳広 川辺 章子 伊藤智栄子
会議内容	
1 開 会	
2 委嘱状交付	
3 あいさつ	松本隆男 教育長 あいさつ
4 委員及び事務局照会	渡部幸代 教育部長より紹介
5 議 題	<p>(1) 委員長・副委員長の選出について 仮議長進行として松本教育長が議長を務める。 委員長に南小学校校長 山口浩 委員 副委員長に塚越小学校PTA副会長 鈴木真美 委員が選出。 山口委員長あいさつ。 これ以降、山口委員長が議長として議事進行にあたる。</p> <p>(2) 令和4年度給食数及び学校給食費調定収入状況について 事務局より別途資料に基づき、延べ給食数、回数及び調定額、収入額、収納率について説明。</p> <p>(3) 令和4年度給食用賄材料費の内訳について 事務局より別途資料に基づき、主食費(米飯、パン・麺類)、副食費(肉・魚介類、青果物、牛乳)の小中学校別の内訳について説明。</p> <p>(4) 令和4年度給食用賄材料購入価格状況について 事務局より別途資料に基づき、主食、牛乳、副食について平均単価を前年度と比較しながら説明。</p> <p>(5) 令和4年度栄養状況について 事務局より別途資料に基づき、令和4年度の児童・生徒一人当たりの栄養状況について説明。</p>

委員 食物繊維の摂取は以前から少なかったのか。カルシウムが少ないという印象はあったがどうか。

事務局 ここ何年かは食物繊維が不足している状態ではある。摂取基準の値が食物繊維は他の栄養素と比較して高めの数値であることから、摂取基準通りに立てられない状況であるが、努力はしていきたい。

委員 食物繊維は、学校給食でできる献立の範囲内となるとどうしても少なくなってしまうことは理解できる。

事務局 必要な栄養素を満たすことを中心に献立を立ててしまうと、食材費が高くなってしまったり、献立内容に隔たりが出てきてしまったり、残食が多くなってしまったりなどの懸念がある。

委員 カルシウムなどを増やそうとしたらどんな食材が考えられるか。

事務局 一番は牛乳である。

また、献立を立てる際に参考にしている食品構成というものがあるが、蕨市では小魚を提供できていない面がある。

提供方法としては、副菜に混ぜたり、ふりかけにして提供するなどが考えられる。小魚をうまく取り入れることを献立の工夫の中で検討していきたい。牛乳の量を増やすことも考えられるが、牛乳でお腹がいっぱいになってしまう懸念もあるので、ヨーグルトやチーズの提供を考えている。ヨーグルトに関しては、学校に直接届ける学校配送で涼しくなった時期につけられる可能性があるが、予算との相談である。チーズについては料理に組み込んでいくことなどを考えている。

委員 食育はとても大事。3食のうち1食を学校給食で摂取しているが、不足になる物も出てくる。カルシウムや鉄分などは、ご家庭でも是非とってくださいというようなアプローチの仕方も大事なのかなと思う。

学校給食は予算もある事なので、限界があると思うので、家庭にも協力を求めることも大事だと思う。

(6) その他

近年の物価高騰を受けた近隣市の給食費の動きについて、事務局より説明。給食費の値上げについてのセンターとしての考え、保護者負担軽減についての考えを説明。

次回の運営委委員会で今後の方針について諮りたいと考えている。